

※こちらは実際に「100年方位吉凶表」をご購入された後にお送りする「活用マニュアル」です（サンプルとしてご覧ください）

はじめに

この度は「応用九星気学・現代風水研究所」の公式データ商品「100年方位吉凶表」をお求めいただき誠にありがとうございます。

この「100年方位吉凶表」には、1941年（昭和16年）から2040年までの間に、年単位で変わる各方位の吉凶を示した「年盤（ねんばん）」、そして、月単位で変わる各方位の吉凶を示した「月盤（げつばん）」の2つを掲載しています。

「年盤」「月盤」をそれぞれどのタイミングでどのように使うかについては、順を追って説明してまいります。

一見複雑に見えるかもしれませんが、決して難しくありません。専門知識がなくてもどなたでも使いこなすことができます。どうか「年盤」「月盤」のそれぞれの特性をご理解いただき、将来の引越しや旅行の計画、ならびにご自身の過去の引越しや旅行の吉凶履歴を調べるために役立てていただきたいと思います。

また、「応用九星気学・現代風水研究所」のデータ商品には、恐らく他では知ることができない「究極の吉方位」も特別に掲載しております。今まで法人契約先の一部のクライアント以外には公表をしていなかった秘術ですが、データ商品の一般発売から20周年を迎えたのを機に、その信憑性と安全性が完全に確認できたこともあって、この度、一般の実践者向けに余すことなくお伝えすることといたしました。

ぜひ秘術も使いこなしながら、激動の現代社会の中を追い風で乗り越えていただきたいと思います。

応用九星気学・現代風水研究所
主任鑑定士 醍醐虎之介

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

<第1章 基礎編—基本活用術—>

1. 100年方位吉凶表のレイアウトについて・・・・・・・・P3
2. 年盤・月盤のそれぞれの特徴・・・・・・・・P6
3. 年盤の使い方・・・・・・・・P7
4. 月盤の使い方・・・・・・・・P21
5. 日盤について・・・・・・・・P26
6. 効果の現れる時期について・・・・・・・・P30

<第2章 応用編—吉方秘術—>

1. 秘術データ部分のレイアウト・・・・・・・・P32
2. 秘術の種類・・・・・・・・P33
3. 大三合吉方・・・・・・・・P34
4. 天道吉方・・・・・・・・P38
5. 同会吉方・・・・・・・・P40
6. 輪重吉方・・・・・・・・P42
7. 日盤部分の同会吉方・輪重吉方・・・・・・・・P45
8. 同会と傾斜・・・・・・・・P47
9. 年周期のバイオリズム・・・・・・・・P49
10. 子供の本命星・月命星・・・・・・・・P52
11. 子供特有の凶方位「小児殺」・・・・・・・・P54

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 55

<第1章 基礎編—基本活用術—>

1. 100年方位吉凶表のレイアウトについて

それでは早速「100年方位吉凶表」を開いてみましょう。

Eメール納品・CD-R納品の場合は、「EXCEL」というファイルと「PDF」というファイルの2種類からお選びいただけます。(プリントアウト納品の場合はすでに印刷済みの1種類のみです)

EXCELもPDFもどちらも内容は全く同じですが、見やすさという点ではEXCELのほうがずっと上です。表のサイズも自由に変更できますし、ご自身のスケジュールを書き込むこともできます。もしもお使いのパソコンに「EXCEL」というソフト(あるいはEXCEL対応可のソフト)が入っていない場合は、無料でEXCELに対応したソフトをダウンロードできます。

■EXCELとの互換性の高い無料ソフト「LibreOffice」
<http://freesoft-100.com/review/libreoffice.php>

一方、PDFを使って100年方位吉凶表を開いた場合、写真画像のように表示されますので、画面のサイズ変更や文字の入力などはできませんが、ほとんどのパソコンですぐに開くことができます。

■PDFを無料で開くことができるソフト「Adobe Acrobat Reader」
<https://get.adobe.com/jp/reader/>

お使いのパソコン環境に合わせて使いわけてください。(表のサイズが大きいので通常のスマートフォンでは開くことは困難です。パソコンをお持ちでない場合は、ネットカフェやオフィスコンビニでデータを開いて、必要に応じて印刷をされると良いでしょう。ただし、印刷サイズをきちんと合わせてから印刷ボタンを押すようにしてください)

「100年方位吉凶表」を開くと以下のようなレイアウトになっています。

吉方位はピンク色で示していますが、もしも「100年方位吉凶表」を開いても色がついていない場合には、お使いの EXCEL が古いバージョンだったり、EXCEL との互換性が不十分である可能性があります。その場合は、最新の EXCEL で開きなおすか、PDF で開くようにしてください。

(この説明を読まれても、「100年方位吉凶表」の開き方がわからないという場合は、サポートいたしますので、営業時間内にお電話をいただくか、あるいは Eメールでご相談ください)

「100年方位吉凶表」は以下のような表が100年分表示されます。表示部分は1年分(12ヶ月)の「年盤」と「月盤」を表します。つまり、1年間ずっと変わらずに各方位を支配している星と、毎月変わる各方位の星です。「年盤」と「月盤」の使い方はこの後、説明します。

年	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西	北
2016年	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星
2月	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星
2月4日19時~(立春)	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星
3月	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星
3月4日19時~(節分)	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星
4月	九紫火星	五黄土星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星
4月4日17時~(清明)	九紫火星	五黄土星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星
5月	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星
5月4日11時~(立夏)	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星
6月	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星
6月4日15時~(芒種)	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星
7月	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星
7月7日1時~(小暑)	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星
8月	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星
8月7日11時~(立秋)	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星
9月	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星
9月7日14時~(白露)	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星
10月	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星
10月8日0時~(寒露)	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星
11月	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星
11月7日9時~(立冬)	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星
12月	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星
12月7日2時~(大雪)	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星
1月	九紫火星	五黄土星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星
1月9日13時~(小寒)	九紫火星	五黄土星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	四绿木星	三碧木星	二黒土星

←————基礎データ部分————→ ←————秘術データ部分————→

基本的な方位の吉凶は、左の「基礎データ部分」からわかります。九星気学風水が初めてという方は、まずはこの「基礎データ部分」をしっかりマスターしましょう。

一方、九星気学風水をひとつとおり勉強された方は、右の「秘術データ部分」をぜひマスターしてください。

●なぜ2月から掲載しているの？

気学は旧暦をベースに考えられた学問ですので、1年の始まりは私たちが使うカレンダーの2月4日からです。（年によっては2月3日や2月5日の場合もあります。）

申年	中宮	
2016年	二黒土星	
2月	二黒土星	
2月4日19時～(立春)		
3月	一白水星	
3月5日13時～(啓蟄)		
4月	九紫火星	
4月4日17時～(清明)		

ただし旧暦を現代暦に変換するような面倒な作業は必要なく、そのまま表の2月4日は、カレンダーの2月4日として使っていただいて結構です。

1月1日から2月3日はまだ前年ですので、**年盤**の吉凶も変わってしまいます。そのため1月1日から2月3日の方位吉凶をお調べになりたい場合は、1つ前の表（前年の表）をご覧ください。

2. 年盤・月盤のそれぞれの特徴

人の「運氣」は地球の「地磁気」の分布によって支配されています。その法則を体系化したのが「九星気学風水」です。

その「地磁気」を風水的見地からカテゴリー分けすると、

- 1) 1年ごとに変わる大規模な「地磁気」の動き
- 2) 1ヶ月ごとに変わる中規模の「地磁気」の動き
- 3) 毎日変わる小規模の「地磁気」の動き
- 4) 2時間おきに変わるさらに小規模の「地磁気」の動き

の4つに分けられます。つまりそれぞれ別々に存在していて「4層構造」になっているわけです。

これを地磁気の分布に合わせて、「相性の良い方位」と「相性の悪い方位」にわけたものが、

- 1) 1年ごとに変わる・・・「年盤（ねんばん）」
- 2) 1ヶ月ごとに変わる・・・「月盤（げつばん）」
- 3) 毎日変わる小規模・・・「日盤（にちばん）」
- 4) 2時間おきに変わる・・・「刻盤（こくばん）」

です。

「日盤」は毎日の日常生活における吉方位を探したり、旅行の出発日、通常の仕事のアポイント、通院の吉方位を探したりするときに使う毎日の吉凶表です。

そして「刻盤」はお水取りやお砂取り、大きな手術、プロポーズ、大事な商談など高い精度を必要とする場合に使う2時間ごとの吉凶表です。

「100年方位吉凶表」は4つの盤の中でも特に人生への影響力の大きい「年盤」と「月盤」のみを100年分掲載しています。「日盤」は「年盤」や「月盤」と比べると影響力は小さいですが、毎日の積み重ねで運気のベクトルは変わっていきますので、可能な限り日常生活において「日盤」も取り入れることをお勧めし

ます。（日盤は毎年8月31日頃に翌年分をホームページ上で発売します）

一方、「刻盤」は「日盤」よりもさらに影響力は小さいですが、ここぞというタイミングで精度の高い吉方位に合わせたい場面で使います。トリガー（引き金）となって運気が大きく動くきっかけがつかれる場合もありますので、人生の大きな局面で、「刻盤」の吉方位（2時間おきに変わる吉凶）も取り入れると良いでしょう。

3. 年盤の使い方

年盤は1年に1回しか変わりません。2月4日から翌年の2月3日までずっと同じ星がその方位を支配し続けています。

「4つの盤」の中で年盤のもつ影響力は最も強いので注意が必要です。年盤の吉凶の影響力は60年間も続きます。(実際には途中でほとんどの影響が水面下に消えてしまうので、実感できるのは13年間です)

そのため、年盤で凶方位をとってしまうと、13年間その凶作用を受けっぱなしになってしまうのです。これは人生にかなりのダメージを与えてしまいます。絶対に避けましょう。

しかし、何でもすべて「年盤」の影響を受けるわけではありません。

年盤の影響を受けるのは、

- 1) 引越し(1 km以上)
- 2) 遠距離の旅行(500 km以上)
- 3) 5年以上の治療を要する通院

の3つです。毎日の通勤や通学、近距離の旅行、入学、入社などは基本的には年盤の影響を受けませんのでご安心ください。(入学や入社の場合については後述します)

引越しといっても、あまりにも近い距離の引越しでは影響を受けません。方位の影響は遠ければ遠いほど強くなりますが、引越しの場合は、今の自宅から1 km以上離れると方位の影響を受け始めます。

実際には1 km程度の引越しでは影響は非常に小さいです。

ではどのくらいの距離を引越しすると影響が出るかと言いますと、個人差がありますので一概にはお伝えできませんが、例えば今まで1度も引越しをしたことがない人が3 km程度の引越しをした場合には、目に見えるレベルで方位の吉凶が現れますが、過去に何十キロもの引越しを何度も経験した人が3 km程度の引越しをしても、方位の影響は表面には見えにくいでしょう。

30 km、100 km、500 km・・・と距離が遠くなれば遠くなるほど、年盤の吉凶が顕著に現れて、その後の人生に影響を及ぼしていきますから、吉方位の効果を得ることを目的として引越しを考えられているのであれば、過去に経験した引越しより長い距離で、かつ最低でも10 km以上は移動をしたいところです。

尚、75泊以上の旅行、75泊以上の入院も引越しと同じ扱いになります。75泊経過すると、「気の拠点」が新しい場所へ移ってしまいます。そのため、75泊以上の旅行あるいは入院をして、再び自宅に戻るという場合には、旅行先・入院先の方位の影響を受けて、さらに今度は、旅行先・入院先から自宅へ戻るときの方位の影響を受けますから、両方が吉方位になるようにしましょう。

一方、75泊未満の移動はすべて旅行と考えます。

そして500 kmを超えると年盤の影響が顕著に現れ始めます。実際には五黄殺、暗剣殺という強い凶方位の場合は200 kmを超えたくらいから影響が開始しますが、本格的な影響は500 km以上です。

500 kmというと、東京から岡山くらいの距離ですね。このくらいの移動をする場合には、しっかり年盤を見て、凶方位になっていないかどうかを確認しましょう。吉方位（表でいうピンク色のところ）であればベストですが、最低でも空欄になっているタイミングで行くようにしてください。（空欄は「相剋（そうこく）」と言って、厳密には弱い凶方位になるのですが、現代社会ではほとんど影響を及ぼさなくなりました。そのため、空欄は「吉でも凶でもない」と解釈をしまして結構です。

入院ではなく自宅から通院をする場合でも、その治療に5年以上かかるような大きな病気や怪我の場合には、年盤の影響を受けます。同じ病院に同じ治療内容で5年以上通っているな・・・と思ったら、5年前に通院を始めたときの年盤を確認してください。5年前の年盤が吉方位だったら、そのまま治療を続けて結構です。もしも凶方位だったら、5年経過を機に病院を変えることをお勧めします。（凶方位の影響が出始めて、誤診や医療過誤などの被害を受ける可能性が急激に上がってしまいます）

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	咸池/五黄殺		本命殺	○	種別殺	○	本命的殺

こちらが年盤の例です。それぞれお使いの九星によって中身は変わりますが、これはある年の「本命星：一白水星、月命星：一白水星」という星をもって生まれた人の年盤です。これを例に説明しますね。

申年	中宮	北
	二黒土星	七赤金星
2016年		○

2016年と書いてあります。つまりこの年盤は2016年2月4日から2017年2月3日まで有効ですよ、という意味です。

中宮が「二黒土星」と書いてありますが、これは九星の中で「二黒土星」という星が、真ん中の席に居座って支配をしている年ですよ、という意味です。

実際には「二黒土星」に関係した事象が起きやすくなるので、その年の傾向をしる上では重要な情報ですが、通常はあまり使いません。

そしてその左に表示されている「申年」というのは「さるとし」と読みます。つまり「干支（えと）」ですね。その年の傾向を知るための情報の1つです。

このマニュアルの応用編で説明をします「9年周期のバイオリズム」のところで、あなたのその年の傾向がわかりますので、中宮・干支の意味はわからなくても十分です。

（現在、会社の経営者をされていて、毎年の大きな流れや傾向も勉強されたいという場合には、鑑定室にお問い合わせください。）

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	咸鏡/五黄殺		本命殺	○	種別殺	○	本命的殺

これが年盤における、各方位の吉凶です。ここは重要ポイントですね。

まず、方位は8方位に分けられます。

北・東北・東・東南・南・西南・西・西北 です。

一般には、東北（とうほく）ではなく、北東（ほくとう）って言いますよね。東南、西南、西北も、現代では、なんとう、なんせい、ほくせい です。

しかし九星気学風水はちょっと言葉が古いので、とうほく・とうなん・せいなん・せいほく です。まあ、呼び方なんて重要ではないですが、一応、お伝えします。

北＝磁北線の左右15度

です。地図上の北は「真北（しんぼく）」ですが、これではありません。この「真北」から5から7度くらい西に偏ったところが「磁北（じぼく）」です。方位磁石が指す「北」のことです。

九星気学風水は地球の地磁気の配置をもとに体系化された方位術です。そのため、地球の地磁気の基準となる方位磁石の示す方位が、基準にならなければなりません。（「真北」理論が間違っている理由については、当研究所のホームページで詳しく説明していますので参考にしてください）

北が決まればあとは簡単です。

- 北（30度）
- 東北（60度）
- 東（30度）
- 東南（60度）
- 南（30度）
- 西南（60度）
- 西（30度）
- 西北（60度）

これで合計360度となります。方位の数は8方位。

なぜ30度のエリアと60度のエリアがあるのかと言いますと、方位の基準はもともと12区分だからです。これは地球に大きな影響を与えている「木星」の太陽周回が12年周期であるためです。便宜上ちょうど12区分を表わす「干支（えと）」を当てはめて考えることが多いです。例えば、北は干支の「子（ね）」の方位で30度となり、その右は「丑（うし）」の方位で30度、その右は「寅（とら）」の方位で30度・・・と12区分で360度を1周します。

しかし、「丑（うし）」エリアと「寅（とら）」エリアは性質がほとんど同じなんです。合わせて「艮（うしとら）」って呼んだりします。

性質が同じであれば見やすくするために合併させて考えます。つまり地磁気帯の分布は、本当は12方位だけど、見やすいように同じ性質のところは合併させてしまって8方位にした、とと思ってください。それが30度エリアと60度エリアの2つ発生する理由です。

ちなみに家の風水を見るときは、45度で8方位を見ます。家の風水は干支ではなく八卦をベースにするためです。同じ風水でも使うツールが少し違うんですね。

そして、方位はすべて自分の自宅から見ます。自宅が中心です。自宅から見た磁北基準の方位をしっかりと調べておきましょう。

最近インターネットで無料にて自宅から見た方位が調べられるようになりましたので、大雑把な方位であれば検索が可能です。（インターネットの世界ですから、突然サイトがなくなってしまうこともあります。あれば以下のサイトが便利です。必ず「方位線の種類」を「気学 30/60 度」にして、「偏角を考慮」にしてください。偏角を考慮しますと、磁北に合わせて西に5から7度ほど傾けて表示してくれます。ただし偏角は最新ではありませんのでズレがあります。そのためあくまでも大雑把な位置把握にお使いください。

（あちこち方位） <http://h200.com/houi/>

尚、ハッピーエナジーというサイトもありますが、こちらは磁北になっていないので、誤差があまりにも大きくてお勧めしません。

また、方位と方位の境界線は「**気が混ざるエリア**」ということで、通常は使いません。上記の無料サイトでは「**気が混ざるエリア**」は表記されていませんので、「**気が混ざるエリア**」や「**方位の中心線**」、「**最新の偏角**」などを正確に把握されたい場合は、「**応用九星気学・現代風水研究所**」の公式販売商品「**祐気取り・方位取り用地図**」を参考にされてください。（ご自宅を中心にした、日本全図、地方地図、都道府県地図、市区別地図の4種類が制作可能です。※世界地図は東京中心図のみ）

もう1回、先ほどの**年盤**の図を出しますね。

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四綠木星	三碧木星
2016年		○	歳破/五黄殺		本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

これは「**年盤**」でしたから、1年を通じて「北」「南」「西」の3方位が**吉方位**となります。ピンク色で表示されていますね。

この吉方位はあなたの生まれ持った**性質（九星）**と、地球の**地磁気**のリズムが合致するので、右脳が活性化されて体内周波数を高めるように働きかけます。

つまり「**運気が良い状態**」「**追い風に後押しされた状態**」「**右脳が活発でヒラメキや潜在能力が引き出される状態**」になりやすくなることを意味します。

動物や虫は地球の**地磁気**に忠実に生きていますが、人間だけは利便性を最優先して地球の**地磁気**に逆らって生きていますからね。無理がかかるのは仕方ありません。ぜひ**吉方位**をとりいれて、**本来のリズム**を戻してください。

そして上記の「**年盤**」では、**東北方位**には「**歳破/五黄殺**」という凶方位が回っています。「**歳破**」と「**五黄殺**」という別々の凶方位がまとめて1つの中に入っていることを表しています。（**二重凶**と言います）

「**二重凶**」は極めて危険です。致命的と言っても良いでしょう。こちらは絶対に取らないようにしてください。（厳密には歳破の影響範囲は60度ではなく30度なのですが、時期と条件によって30度を超える場合があるので、当研究所のデータ商品では**60度すべてを歳破**にしています。（60度の中を細分化して、厳密に歳破の影響範囲を調べたい方は鑑定室までご相談ください）

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	歳破/五黄殺		本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

表に戻りますと、西南方位には「暗剣殺」という凶方位がまわっています。これも字を見ただけでも怖そうですね。「五黄殺」「暗剣殺」「歳破」の3つと、この後に出てくる「土用殺」を合わせて「4大凶方位」と呼びます。

五黄殺・・・内面から腐らせて運気を低下させる凶方位（自動的）

暗剣殺・・・事件や事故、怪我に遭いやすい凶方位（他動的）

破（は）・・・物事の流が停滞して、前へ進まなくなる凶方位（「破壊殺」と呼ぶ鑑定士もいます。年盤の「破」は歳破、月盤の「破」は月破、日盤の「破」は日破呼びます）

土用殺・・・五黄殺と破を合わせたような強力な凶方位

（土用殺の時期と方位）

4月の後半（土用期間の約20日間）の東南方位

7月の後半（土用期間の約20日間）の西南方位

10月後半（土用期間の約20日間）の西北方位

1月の後半（土用期間の約20日間）の東北方位

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	歳破/五黄殺		本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

その他、東南方位に本命殺、西北方位に本命的殺 という凶方位がまわっています。

これは4大凶方位ほどの凶作用ではありませんが、やはり体内周波数を下げやすくする（＝運気を上げにくくする）原因となりますので、できるだけこの方位は避けるようにしてください。

ちなみに、「的殺（てきさつ）」は年盤では「本命的殺（ほんめいてきさつ）」と呼びますが、月盤や日盤では「的殺」と呼びます。意味は全く同じです。

そして「的殺」の中でも、実際には「的殺」と「的殺（相生）」の2つがあります。（相生は「そうしょう」と呼びます）

100年方位吉凶表ではこの2つは区分していませんが、毎年発売をする「日盤」では、その年の地磁気の状態に合わせて、「的殺（相生）」が発生しているときだけ「的殺」と「的殺（相生）」を分けて表示しています。

「的殺（相生）」は凶作用がかなり弱められた「的殺」になります。そのため、どうしても凶方位に行かなければならないという場合、「仕方なく」とるのであれば、この「的殺（相生）」であれば、多少は良いということになります。でも、凶方位であることには変わりありませんので、基本的には取らないでください。（100年方位吉凶表は、100年分をまとめて掲載しなければならないという性質上、発生したり発生しなかったりする「的殺（相生）」までは記載ができません。そのためすべて「的殺」と表示しています。ご了承ください。）

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
2016年	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
		○	歳破/五黄殺		本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

ちなみに東は空欄になっています。前述のとおり「相剋」ですので弱い凶方位なので、わざわざ取る必要はありませんが、実際には影響はほぼ皆無なので、どうしても行かなければならないという場合には「仕方なく」とる方位の1つです。

ちなみに、EXCEL ファイルで開いた場合、別シートに「同会・傾斜・最大吉方位」とあります。表の下のほうをご覧ください。

九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四緑木星	六白金星	二黒土星	一白水星
(小寒)	五黄殺	○/土用殺	○	的殺	暗剣殺	月破		月命殺
本命星（一白水星）月命星（一白水星）		9年周期バイオリズム			同会・傾斜・最大吉方位		小児殺について（満12歳以下のみ）	

PDF ファイルの場合は、別々のファイルにして納品しています。この中の「最大吉方位」というのは、いくつかある吉方位の中でも、特に吉効果が強いのがこの星ですよ、という意味です。

例えば、「本命星：一白水星、月命星：一白水星」という人にとっての本来の吉方位というのは、

三碧木星、四緑木星、六白金星、七赤金星 という4つの星が回った方位です。

しかし、その中で特に吉効果が強い吉方位が、三碧木星、四緑木星の2つになります。

同会・傾斜・最大吉方位一覧表				
本命星	月命星	同会	傾斜	最大吉方位
一白水星	一白水星	二黒土星	六白金星	三碧木星・四緑木星
	二黒土星	九紫火星	四緑木星	六白金星・七赤金星
	三碧木星	八白土星	三碧木星	四緑木星

先ほどの年盤をもう1度見ますと、

申年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	歳破/五黄殺		本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

北には七赤金星、南には六白金星、西には四緑木星 がまわっています。いずれも吉方位なのでピンク色で○がついています。

この3つを比べると、「最大吉方位」の「三碧木星・四緑木星」が入っている、「**西方位**」が最も強い吉方位になるという意味です。

そのため、引越し先の候補地が、北と南と西の3箇所あるという場合には、最大吉方位の「**西**」が特にお勧めですよ、ということになります。

ただし、最大吉方位ばかりを優先するのは考えものです。

実は人間というのは「**バランス良くすべての要素**」をもっている状態が最も運気の良い状態になるからです。

「すべての要素」というのは、一白水星から九紫火星までの9つの星のことです。

実は一昔前までは1種類の九星を**集中的に取る**ことで、大きな成功を収めた時代がありました。しかし2003年（風水暦で言う「八運」）からは、偏重型では通用しない時代になり、バランスよくすべての要素をもっていないと通用しない時代に入ったのです。（地球のアセンションにも関係しています）

そのため、たとえ最大吉方位が四緑木星であっても、最近全く七赤金星の吉方位が取れていないな・・・と思ったら、あえて七赤金星を選択するほうが良いということになります。すべてをとらないと運気が上がらないということはありませんが、できるだけバランスよく多くの種類を取るようになしてください。

1年のうちに、七赤金星もとって、六白金星もとって、四緑木星もとって・・・消化不良にならないかな？と思われるかもしれませんが、なりません。バランスよく吸収されていきますのでご安心ください。七赤金星方位に旅行に行って、すぐに六白金星方位に行っても大丈夫です。

2003年（八運）からは人間の体質が変化しましたので、昔、話題になった「**水**火殺（すいかさつ）」という凶方位も消滅しました。今はいろいろな種類の九星を取り入れてよい時代になり、取らなければならない時代でもあるのです。

●相性の悪い九星のとり方

9種類の方位をバランスよくとると良いということはわかりました。しかし、自分と相性の悪い九星はなかなか取れません。どうしたら良いのでしょうか？

例えば、上記の事例の「本命星：一白水星」の人にとって、二黒土星、八白土星、九紫火星は相剋関係ですので、吉方位になりません。

ですから表を見ても「ピンク色の○」がつくことはないのです。しかし、

北は「一白水星」のホーム（実家）
東北は「八白土星」のホーム（実家）
東「三碧木星」のホーム（実家）
東南「四緑木星」のホーム（実家）
南「九紫火星」のホーム（実家）
西南「二黒土星」のホーム（実家）
西「七赤金星」のホーム（実家）
西北「六白金星」のホーム（実家）

となっています。これを後天定位（こうてんじょうい）と言います。

そのため、北には常に「一白水星」の性質が残っているんですね。同じように、東北方位はたとえ違う九星が回ってきていても、常に「八白土星」の性質が残っていて、東には三碧木星の性質が残っているということになります。

もう1度、この年盤を見てください。

甲年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	咸曜/五黄殺		本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

北が吉方位ですね。七赤金星が回っています。つまり七赤金星の要素を吸収することができるわけです。

そして、北は「一白水星」のホーム（実家）ですから、一白水星の要素も吸収することができるのです。

このようにして、うまく9つの要素をバランスよく吸収させるようにしましょう。

甲年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四緑木星	三碧木星
2016年		○	咸曜/五黄殺	月命星：本命殺	本命殺	○	暗剣殺	○	本命的殺

最後に、赤い文字で書かれた「月命星：本命殺」「月命星：本命的殺」について説明させてください。表記は小さいですが、結構重要な凶方位です。

この事例は「本命星：一白水星、月命星：一白水星」という人の年盤でした。

表の年盤のところは13歳以上の「本命星：一白水星」の人であれば、表示内容は全員共通です。（満12歳以下の場合については後述します）

しかし、「月命星」によって、微妙に違う部分があります。それが赤文字のところです。

この「本命星：一白水星、月命星：一白水星」の人は、月命星が「一白水星」ですが、実は「九紫火星」のまわる方位が凶方位（月命星：本命殺）になります。上記の例では東方位にありますね。

そして、九紫火星の反対側（西方位）に回る四緑木星も同じく凶方位（月命星：本命的殺）になります。

せっかくピンク色で○（吉方位）になっていても、その下に赤文字で凶方位が書かれてしまった人は残念ながら、ピンク色の○（吉方位）は少し条件が変わります。つまり、この表では西方位が吉方位ではなくなる場合があるということです。

どのように変わるかと言いますと、

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1) 引越しは不可2) 500 km以上の旅行は可 ただし効果は減衰する3) 5年以上の通院は可 |
|---|

となります。

せっかくの吉方位でも、引越しができなくなってしまうのは痛いですね・・・

しかし旅行はできます。ただし500 km以上の旅行の場合、その効果は減衰してしまいます。でも吉方位であることに変わりはないので、祐気取り旅行として成立します。（500km 以下であれば効果は減衰しません）

ちなみに、吉効果の減衰率は20歳までは50%、30歳までは30%、40歳までは10%、50歳以上は減衰率0です。

なぜこの表の例は、「月命星：一白水星」なのに、「九紫火星」が本命殺になるの？と思われるかもしれませんが、その解説はここでは省略します。（星の極まりと変換という法則がはたらきます）

九星気学風水を勉強したことがある人は、「月命星：本命殺」「月命星：本命的殺」の位置に間違いがあるのでは？ と思うかもしれませんが、これは間違いではありません。年盤に記載のとおりお使いください。（間違いではない理由を詳しく知りたい方は鑑定室にご相談ください）

●入学や入社でも「年盤」の影響を受けるケース

先ほど入学や入社の場合には基本的には年盤の影響は受けないとお伝えしました。このあと説明をする「月盤」の影響範囲となります。

しかし、例外として5年以上同じ敷地の学校に通う**中高一貫校**や**医学薬学系の大学**の場合は、**5年目から**年盤の影響も受け始めます。大学から大学院に進学する場合も、5年以上同じ大学の敷地の場合は**5年目から**年盤の影響を受け始めます。そして、長くその場所に通えば通うだけ、年盤の影響力が強くなっていきます。この場合の年盤は**入学をした年の年盤**で見ます。**4年間の潜伏期間**を経て5年目から年盤の影響が出始めるのです。

そのため、大学に入って**留年**をした場合も、5年目から年盤の影響が出始めます。就職活動のために計画留年をされる方もいらっしゃると思いますが、計画留年が成功するか失敗するかは、入学をしたときの年盤の影響も大きいとお考えください。

大学では前半の2年と後半の2年とでは学校の場所が変わるケースが多いです。その場合は留年や休学をして5年以上の大学生活となった場合でも年盤の影響は始まりません。また、在学中に**海外留学**をした場合も、留学先に校舎が変わったのと同じですので年盤の影響は始まりません。（留学は500kmを超える引越しですから、海外留学をするタイミングの年盤と月盤の影響は受けます）

一方、小学校は（年齢的な見地から）6年間を通じて年盤の影響は受けません。そして**小中一貫校**、高校と大学が同じ学校法人で**エスカレーター進学**の場合も年盤の影響は受けません。（高校と大学とでは気の流れが一旦リセットされます）

入社・就職の場合も基本的には年盤の影響を受けませんが、転勤やオフィスの引越しなど一切なく、ずっと配属先や職種が類似して変わらなない場合には、**5年目から**徐々に**年盤**の影響が出始めます。

ただし、人事異動や職種変更などの影響で**年盤の影響がリセット**されるケースも多く、とても複雑なので厳密な判断ができません。例えば市役所に勤務を始めて、5年以上通勤先と業務内容が全く変わらないという場合には**年盤**の影響が出始めますが、在職中に何らかの変化（業務変更や昇進など）があると年盤の影響が消えてしまう事例も多いので、あくまでも「変化がないと年盤の影響が出ることがある」という解釈に留めてください。

4. 月盤の使い方

続きまして「月盤（げつばん）」について説明します。

半年	中宮	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北
2016年	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星
		○	曜曜/五黄殺		本命殺	○	曜曜殺	○	本命約殺
			月命星：本命殺				月命星：本命約殺		
2月	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星
2月4日19時～(立春)		○	五黄殺		月命殺	○	月曜/曜曜殺	○	約殺
3月	一白水星	六白金星	四绿木星	八白土星	九紫火星	五黄土星	七赤金星	三碧木星	二黒土星
3月5日13時～(啓蒙)		曜曜殺	○			五黄殺	○	月曜	
4月	九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四绿木星	六白金星	二黒土星	一白水星
4月4日17時～(清明)		五黄殺	○	○	約殺/土用殺	曜曜殺	○	○	月曜/月命殺
5月	八白土星	四绿木星	二黒土星	六白金星	七赤金星	三碧木星	五黄土星	一白水星	九紫火星
5月5日11時～(立夏)		○	曜曜殺	約殺	○	○	五黄殺	月命殺	月曜
6月	七赤金星	三碧木星	一白水星	五黄土星	六白金星	二黒土星	四绿木星	九紫火星	八白土星
6月5日19時～(芒種)		月曜	月命殺	五黄殺	○		約殺	曜曜殺	
7月	六白金星	二黒土星	九紫火星	四绿木星	五黄土星	一白水星	三碧木星	八白土星	七赤金星
7月7日1時～(小暑)		約殺	月曜	○	五黄殺	月命殺	○/土用殺		曜曜殺
8月	五黄土星	一白水星	八白土星	三碧木星	四绿木星	九紫火星	二黒土星	七赤金星	六白金星
8月7日11時～(立秋)		月命殺	月曜	○	○	約殺		○	○
9月	四绿木星	九紫火星	七赤金星	二黒土星	三碧木星	八白土星	一白水星	六白金星	五黄土星
9月7日14時～(白露)		約殺	月曜	曜曜殺	○	月命殺	○	五黄殺	
10月	三碧木星	八白土星	六白金星	一白水星	二黒土星	七赤金星	九紫火星	五黄土星	四绿木星
10月8日6時～(寒露)			○	曜曜殺/月命殺	月曜	○		五黄殺/約殺	○/土用殺
11月	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星
11月7日9時～(立冬)		○	五黄殺		月曜/月命殺	○	曜曜殺	○	約殺
12月	一白水星	六白金星	四绿木星	八白土星	九紫火星	五黄土星	七赤金星	三碧木星	二黒土星
12月7日2時～(大雪)		曜曜殺	○			月曜/五黄殺	○	○	
1月	九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四绿木星	六白金星	二黒土星	一白水星
1月5日13時～(小寒)		五黄殺	○/土用殺	○	約殺	曜曜殺	月曜		月命殺

実はこの「月盤」が一番よく使うかもしれません。人生の中で引越しをすることは何度もありませんから、「年盤」を使う機会は限られます。

500 km以上の旅行や出張は「年盤」の影響が強いとお伝えしましたが、500 km以上の旅行・出張は「月盤」の影響も強く出るので。

「月盤」は、

- 1) 200 kmから500 kmの旅行
- 2) 5年未満の通院
- 3) 入学や入社

で最も強く影響が出ます。

そして、

- 4) 500 km以上の旅行
- 5) 1 km以上の引越し

でも少なからず影響を及ぼします。つまり影響範囲はとても広いんですね。

毎日の通勤や通学など200km以内の方位の影響は、「日盤」で見ますから、そちらのほうが毎日のことなので影響が大きいと思いがちですが、日盤は影響力そのものが月盤よりも小さいですから、影響力という点で「月盤」のほうが重要と言えます。月盤の影響は60ヶ月（5年）続きます。（ちなみに日盤の影響は60日です）

旅行先を決めるとき、距離が200kmを超えていたら、その時点で必ず月盤吉方位に合わせてください。月盤が吉方位でなければ旅行の計画は変えましょう。とにかくまずはこの月盤を開いて、それから旅行のことを考えるとよいと思います。

旅行の場合 方位の影響範囲

方位盤	方位	0～200km	200～500km	500km 以上
年盤	4大凶方位	影響なし	△	×
	その他の凶方位	影響なし	影響なし	×
	吉方位	効果なし	△	○
月盤	4大凶方位	△	×	△
	その他の凶方位	影響なし	×	△
	吉方位	効果なし	○	○

× 凶方位の影響を受ける

○ 吉方位の効果を受ける

△ 凶方位の影響を多少受ける・吉方位の効果を多少受ける

5年未満の通院
入学や入社

の場合は距離の関係なく、月盤の影響を受けます。

いずれも、通院を始めた月の月盤、入学して学校に通い始めた月の月盤、入社をして通勤をし始めた月の月盤を見るようにしてください。

ときどき入学式は4月1日（まだ旧暦では3月）にあって、実際に通学をし始めたのは4月8日（旧暦で4月）というケースがあります。その場合は、両方の月盤の影響を受けていますが、配分としては通学を始めた月盤（この例では4月）のほうが影響力は強いです。

同じく入社式は4月1日（旧暦3月）で、研修を会社外で行なって、実際に配属が決まってその配属先のビルに通い始めたのが4月14日（旧暦4月）だった、なんてケース多いですね。この場合も3月と4月の月盤の影響を両方受けるものの、影響度合いはずっと4月のほうが大きいです。家から見た配属先のビルの方位を見るようにしてください。

尚、引越は年盤の吉方位に合わせることはもちろんですが、月盤の吉方位も必ず合わせてください。「距離に関係なく」です。1 km以上離れたところに引越しをするときには、妥協せず年盤と月盤のダブルで吉方位になるタイミングで引越しをするようにしてください。

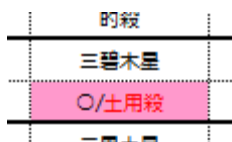
どうしても一方しか合わせられないという場合は、長く住む予定であれば年盤重視、5年以内に再び次の引越しの可能性がある場合は月盤重視です。そのため、転勤の場合は月盤の影響がメインになっている間にまた次の引越しになるケースが多いので、月盤を最優先して、可能であれば年盤を合わせるといった妥協案も有効となります。

尚、同じマンションの中で引越しをする場合や、となりの敷地に家を建てて引越しをする場合は方位の影響を受けません。

この場合は土用期間中の増改築や引越しを避けて、あとは日にちを気にせずに引っ越しをされて結構です。（むしろ、家宅風水重視して、風水的にプラス要素の高い間取り・部屋割りをされることを重視されてください。）

再び月盤を見ましょう。

年	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
2016年	二黄土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	本命星
月命星：本命星										
2月	二黄土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	本命星
3月	二黄土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	本命星
4月	九紫火星	五黄土星	七赤金星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	一白水星
5月	九紫火星	五黄土星	七赤金星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	一白水星
6月	七赤金星	五黄土星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	九紫火星	一白水星
7月	七赤金星	五黄土星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	九紫火星	一白水星
8月	五黄土星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	九紫火星	七赤金星	六白金星
9月	四绿木星	三碧木星	二黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	七赤金星	五黄土星	一白水星
10月	四绿木星	三碧木星	二黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	七赤金星	五黄土星	一白水星
11月	二黄土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星
12月	二黄土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星
1月	九紫火星	五黄土星	七赤金星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	一白水星
2月	九紫火星	五黄土星	七赤金星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	二黄土星	一白水星



「〇/土用殺」となっています。このような記載になるケースがあります。

これはピンク色で〇 ということですが、土用期間に入ると「土用殺」になるというパターンです。月の前半は吉方位、後半からは猛烈な凶方位です。

土用の開始日については「日盤」をお持ちの方は赤文字で「土用」と記載していますのでそちらでご確認ください。

14日	土	土用	八白	4
15日	金		七赤	3
16日	土	土用	八白	4
17日	日	土用	九紫	5
18日	月	土用	一白	6
19日	火	土用	二黒	7

「日盤」をお持ちではない方は、応用九星気学・現代風水研究所のホームページに「100年土用暦」を掲載していますので、そちらをお使いください。

<http://www.take-hope.com/kyusei/contents/O14-1.html>

●引越しができない人におすすめ「仮吉方術」

すでに一軒家やマンションを購入してしまって、もう引越しはできない・・・
あるいは代々続く実家なので、引越しは不可能・・・

という方もいらっしゃるかと思います。

せっかく吉方位への引越しが最大の開運法であることを知っても、それができないとなると少しテンションが下がりますね。

もちろんできるだけ遠距離で日数の長い旅行であれば、引越しに近い効果を出すことができます。また、この後、応用編で解説をします「秘術」を使って、効果の高い吉方位をとることで引越しに匹敵する旅行ができます。

しかし可能であれば「吉方位引越しの裏技」を試してみてください。

それは「仮吉方（かりきっぽう）」という術です。

■仮吉方の方法

- 1) まず自宅から見て月盤吉方位の方位を探して、その方位に75泊の仮住まいをします
- 2) そして75泊経過したら、その仮住まいから見て自宅が年盤吉方位、月盤吉方位のタイミングで自宅に戻ります

以上です。75泊（75泊76日）住むと、「気の拠点」は仮住まいに移ります。ですから、仮住まいが「自宅」になるわけです。そして、今後はその「新しい自宅」から吉方位に引越しをするわけです。つまり「古い自宅」に戻ればよいのです。

また、類似したケースで「方違え（かたちがえ）」という術もございます。凶方位に引越しをしなければならないケースで、一度、吉方位に仮住まいをしてから、75泊後にもう1度、最終目的地に吉方位で転居をするというものです。

しかし、これらの術は75泊の過ごし方についていくつか制約がありますので、ここではすべてを説明することができません。そのため、もしもこの「仮吉方術」や「方違え」を試されたいという方は、鑑定室までご相談ください。

5. 日盤について

今ご覧いただいている「100年方位吉凶表」は100年分の年盤と月盤が掲載されているデータですので、「日盤」は掲載されていません。

日盤が必要かどうかは、その人の目的にもよります。そのため、以下に「日盤」の簡単な説明をいたしますので、「日盤」が必要かどうかご判断ください。

日盤のレイアウトは以下のようになっています。

日	曜	特記	中宮	北<子>	東北<丑・寅>	東<卯>	東南<辰・巳>	南<午>	西南<未・申>	西<酉>	西北<戌・亥>							
4日	月		五黄	1	日命殺	9	3	○	4	○	9	的殺	2	7	○	6	日破	
5日	火		六白	2	的殺	9	4	○	5	五黄殺	1	日命殺	3	8	○	7	日破/暗剋殺	
6日	水		七赤	3	日破	1	日命殺	5	五黄殺	6	○	2	4	的殺(相生)	9	暗剋殺	8	
7日	木		八白	4	○	2	日破/暗剋殺	6	的殺(相生)	7	○	3	5	五黄殺	1	日命殺	9	
8日	金		九紫	5	五黄殺	3	日破	7	○	8	的殺	4	暗剋殺	6	○	2	日命殺	
9日	土		一白	6	暗剋殺	4	○	8	日破	9	○	5	五黄殺	7	○	3	○	
10日	日		二黒	7	○	5	五黄殺	9	1	日破/日命殺	6	○	8	暗剋殺	4	○	3	的殺(相生)
11日	月		三碧	8	○	6	○	1	暗剋殺/日命殺	2	日破	7	○	9	5	五黄殺/的殺	4	○
12日	火		四緑	9	7	的殺(相生)	2	3	暗剋殺	8	日破	1	日命殺	6	○	5	五黄殺	6
13日	水		五黄	1	日命殺	9	3	○	4	○	9	的殺	2	日破	7	○	6	○
14日	木		六白	2	的殺	9	4	○	5	五黄殺	1	日命殺	3	日破	8	○	7	暗剋殺
15日	金		七赤	3	○	1	日命殺	5	五黄殺	6	○	2	4	的殺(相生)	9	日破/暗剋殺	8	○
16日	土	土用	八白	4	○	2	暗剋殺	6	○	7	○	3	5	五黄殺	1	日命殺	9	日破
17日	日	土用	九紫	5	五黄殺	3	○	7	的殺(相生)	8	○	4	暗剋殺	6	○	2	1	日破/日命殺
18日	月	土用	一白	6	日破/暗剋殺	4	○	8	○	9	○	5	五黄殺	7	○	3	○	○
19日	火	土用	二黒	7	○	5	日破/五黄殺	9	1	日命殺	6	○	8	暗剋殺	4	○	3	的殺(相生)
20日	水	土用	三碧	8	○	6	日破	1	暗剋殺/日命殺	2	日破	7	○	9	5	五黄殺/的殺	4	○
21日	木	土用	四緑	9	7	的殺(相生)	2	3	日破	3	暗剋殺	8	1	日命殺	6	○	5	五黄殺
22日	金	土用	五黄	1	日命殺	9	3	○	4	○	9	的殺	2	日破	7	○	6	○
23日	土	土用	六白	2	的殺	9	4	○	5	日破/五黄殺	1	日命殺	3	日破	8	○	7	暗剋殺
24日	日	土用	七赤	3	○	1	日命殺	5	五黄殺	6	○	2	4	的殺(相生)	9	暗剋殺	8	○
25日	月	土用	八白	4	○	2	暗剋殺	6	○	7	○	3	5	日破/五黄殺	1	日命殺	9	日破
26日	火	土用	九紫	5	五黄殺	3	○	7	的殺(相生)	8	○	4	暗剋殺	6	○	2	1	日命殺
27日	水	土用	一白	6	暗剋殺	4	○	8	○	9	○	5	五黄殺	7	○	3	○	日破
28日	木	土用	二黒	7	○	5	五黄殺	9	1	日命殺	6	○	8	暗剋殺	4	○	3	日破/的殺
29日	金	土用	三碧	8	○	6	○	1	暗剋殺/日命殺	2	日破	7	○	9	5	五黄殺/的殺	4	○
30日	土	土用	四緑	9	7	的殺(相生)	2	3	暗剋殺	8	日破	1	日命殺	6	○	5	五黄殺	6
1日	月	土用	五黄	1	日命殺	9	3	○	4	○	9	的殺	2	日破	7	○	6	○
2日	火	土用	六白	2	的殺	9	4	○	5	五黄殺	1	日命殺	3	日破	8	○	7	暗剋殺
3日	水	土用	七赤	3	○	1	日命殺	5	五黄殺	6	○	2	4	的殺(相生)	9	暗剋殺	8	○
4日	木	土用	八白	4	○	2	暗剋殺	6	○	7	○	3	5	日破	1	日命殺	9	日破
5日	金	土用	九紫	5	五黄殺	3	○	7	的殺(相生)	8	○	4	暗剋殺	6	○	2	1	日命殺

※4月および土用は5月5日10:41まで(以降5月)

こちらの吉方位・凶方位の見方も基本的に「年盤」「月盤」と同じです。

●日盤の活用方法

日盤の影響を受けるのは、

- 1) 200 km以内の日帰り旅行
- 2) 海外旅行の場合、自宅から空港までの方位
- 3) 日帰りの通院
- 4) 朝外出をして最初に行く場所

です。

まず 1) の旅行についてですが、基本的に自宅から200 km以内の近距離だけが影響範囲となります。ただし、200 kmを超える旅行の場合も、日盤吉方位に合わせることができればさらに効果的です。

また、200 km以内でも宿泊を伴うと少し月盤の影響を受け始めますが、あくまでもメインは日盤です。

2) の海外旅行や、500 kmを超える遠距離の国内旅行の場合ですが、これは最終目的地の方位は日盤の影響を一切受けません。そのため、日盤そのものを見ないで出発をして結構です。どうしても日盤が気になる・・・という場合は、強いて言えば自宅から見て、空港までの方位を日盤吉方位に合わせることができれば、旅程がスムーズにすすむでしょう。

日盤が活躍するのは 3) と 4) です。

まず 3) の通院ですが、ちょっと風邪をひいて内科に行くとか、耳鼻科、眼科に行くなどの日常的な通院の場合は、日盤吉方位だけ合わせれば十分です。

もっと何ヶ月も通院が必要になる病気や怪我の場合は月盤吉方位も合わせてください。そしてすでにお伝えのとおり5年を超える通院になる場合は年盤吉方位に合わせます。

その他、整骨院やマッサージ、美容院、散髪、買い物、ジョギング、映画鑑賞、友人との飲み会、商談など、あらゆる場面で日盤吉方位に合わせるように習慣づけをしておく、少しずつプラスの波動が心身に蓄積されていきます。

日盤の効果は月盤や年盤と比べますとずっと小さいですが、毎日のことから回数が多くなりますので、ポディーブローのように徐々に効いてきます。

日ごろから日盤吉方位を使って吉体質をつくっていると、いざというときに月盤吉方位や年盤吉方位の旅行や引越しをするチャンスが巡ってきやすくなります。

そういった意味では、生活に支障がない範囲で、可能なところで日盤吉方位を取り入れておいてください。

●日盤吉方カフェ

朝起きて身支度をした後に外出をされますね。会社に行く人もいらっしゃる、学校に行く人もいらっしゃるでしょう。

そのとき、家を出てそのまま会社や学校に向かうのではなく、その日の**日盤吉方にあるカフェ**に立ち寄って、最低30分過ごすようにしてください。

カフェはご自宅から最低でも1 km以上離れた場所を選びます。カフェに到着するまでの間、外出先では一切、食べ物・飲み物は口にしません。

カフェについたら**「火」と「水」のエLEMENT**を吸収させます。

つまり、その場で**ガスか電気**を使って調理をしたもの。その場の**水道の水**を使った飲み物あるいは食べ物を口にすること。これがポイントです。

ホットコーヒーであればどのようなお店でも、そのお店の**お水**をつかって、そのお店の**ガスか電気**で沸かしているはず。 (電気も「火」のエLEMENTとなりますのでOK)

しかしアイスコーヒーの場合には、もともとパックに入った冷やしたコーヒーをそのまま注ぐだけというお店も多いので、その場合はその日盤吉方位の「火」も「水」も得ていませんので不可です。

カフェがない場合は、コンビニのカフェマシンのコーヒーでも結構です。高級なカフェと効果は変わりません。もちろん、コーヒー以外に食べ物を一緒に注文しても結構です。

とにかく新聞や本を読んだり、スマホを操作したりして**30分以上**その場で過ごしてください。(コーヒーは少しずつ飲んで結構です) コーヒーが嫌い・・・という方は紅茶とか日本茶を出すお店をチェックしておくといいですね。

毎日行なう必要はありませんが、週に4日くらいできると、2ヶ月くらいですっかり**吉体質**が変わってきます。

ただし、生活に支障が生じるような時間配分だったり、無理なルートだったりし

た場合にはストレスが右脳の活性化をさまたげますので避けてください。あくまでも、仕事や生活に支障がなく、ゆっくりリラックスしながらカフェで過ごせる場合に限ります。

なかなか時間が取れないという方は、この後に説明をいたします**秘術**（同会吉方や輪重吉方）のときだけ、実践されても良いでしょう。

少しずつ**吉体質**を形成していくことは、あとあと大きな**吉方位を取るチャンス**をつかむ意味でも効果的ですので、ぜひ機会がありましたら実践されてください。

運気が不安定な人がいきなり**強い吉方位**をとろうとして計画をしても、何かの**邪魔**が入ってその計画どおりにすすまないことが少なからずあります。それは体質的に**凶方位**に呼ばれてしまっていて、凶方位の用事ばかりが増えていくためです。

計画を邪魔する出来事というのは急に仕事で呼び出されたり、家族が病気になったり、突然、冠婚葬祭が入ったりなどです。特に大三合吉方や同会吉方、輪重吉方といった**究極の吉方位**の場合、それを邪魔する力も大きくなります。

6. 効果の現れる時期について

年盤の効果が続くのは60年（実感できるのは13年）、月盤の効果が続くのは60ヶ月、日盤の効果が続くのは60日という点はお伝えしました。

効果の強さは 年盤＞月盤＞日盤　そしてここでは説明をしていますが、日盤の下に「刻盤」が続きます。

同じように凶方位を取ってしまった場合の影響も同じ期間続きます。

では、これらの吉方位（凶方位）の影響は、その方位を取ってからどのくらいの潜伏期間を経て、現れるのでしょうか？

これは数字でスパッと表記するのがとても難しいですね・・・

九星気学風水の原理では、

- 1) 取った方位の九星が中宮に回ったとき
- 2) 自分の本命星が中宮に回ったとき

という法則があります。

1) は、例えば北に回った七赤金星の吉方位をとったら、北にある星が中宮に移動するまでに4年かかりますので、年盤であれば4年度の立春（2月4日）、月盤であれば4ヶ月後の月変わり、日盤であれば4日後の23時ということになります。

2) は例えば2016年は二黒土星が中宮の年ですから、二黒土星の人が過去に取った吉方位や凶方位の影響が2016年に出てくるということになります。

しかし、すべてこの原則に当てはめてきっちりと現れるわけではなく、例えば

- 3) すでに過去に他の吉方位を取っていて、その作用が潜伏しており、あとはトリガー（引き金）だけが必要だった場合
- 4) プラス思考やパワーストーンの活用などで体内周波数が高くなっていて、吉体質が形成されている場合

などは、吉方位を取ってすぐにその効果が現れたりします。

逆に凶方位の場合も原則は1)と2)ですが、**アナフラキシーショック**のように、過去にとってしまった凶方位と同じ性質の凶方位をとってしまった場合に、すぐにその凶方位に反応をして、凶作用が出てしまうという場合もあります。

そのため、効果が現れる時期（これを**顕現期**（けんげんき）と言います）の法則はあくまでも1つの目安であって、日ごろから吉体質をつくっていれば、効果の現れも早くなるという点をおさえておいてください。

ただし「**果報は寝て待て**」ではないですが、吉方位を取ったら、あとはあまり**こだわりや執着**をもたずに、天に任せて普段どおりの生活を続けてください。プラス思考を優位にして、マイナス思考をできるだけ消して、ワクワクした気持ちで楽しみながら過ごすことが大切です。

吉方位をとる目的は自分の九星と相性の良い**地磁気**を受けることで、**体内周波数（波動）**を高めるためでした。

当然ながら、吉方位の現地にお金や理想の恋人が待っているわけではありませんね。

大切なのは「**体内周波数（波動）**」です。いくら吉方位を取っても、自ら体内周波数を下げるとな**行動や思考**をしていては、残念ながら吉方位の効果は出ません。

例えばこの後に解説をします**12倍の吉方位**、**60倍の吉方位**を取っても、「 $0 \times 12 \text{倍} = 0$ 」ですし「 $0 \times 60 \text{倍} = 0$ 」です。つまり、いくら倍数が多くてもベースが0（ゼロ）だったら、効果として顕現できないわけです。

「応用九星気学・現代風水研究所」のホームページでも体内周波数の重要性について詳しく触れていますので、ぜひ運気のメカニズムの根本原理を理解するために今一度、ご確認ください。

<http://www.take-hope.com/kyusei/contents/O23.html>

＜第2章 応用編—吉方秘術—＞

1. 秘術データ部分のレイアウト

それではいよいよ非公開だった「秘術」について解説いたします。

年支	甲子	北	東北	東	東南	南	西南	西	西北			
2016年	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	本命の星	本命の星	本命の星
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				月命星：本命の星				月命星：本命の星				
2月	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	本命の星	本命の星	本命の星
2月4日19時～(丑時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月	一白水星	六白金星	四绿木星	八白土星	九紫火星	五黄土星	七赤金星	三碧木星	二黒土星	本命の星	本命の星	本命の星
3月9日19時～(卯時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月	九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四绿木星	六白金星	二黒土星	一白水星	本命の星	本命の星	本命の星
4月4日17時～(庚時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月	八白土星	四绿木星	二黒土星	六白金星	七赤金星	三碧木星	五黄土星	一白水星	九紫火星	本命の星	本命の星	本命の星
5月4日11時～(己時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月	七赤金星	三碧木星	一白水星	五黄土星	六白金星	二黒土星	四绿木星	九紫火星	八白土星	本命の星	本命の星	本命の星
6月5日15時～(巳時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月	六白金星	二黒土星	九紫火星	四绿木星	五黄土星	一白水星	三碧木星	八白土星	七赤金星	本命の星	本命の星	本命の星
7月7日1時～(戊時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月	五黄土星	一白水星	八白土星	三碧木星	四绿木星	九紫火星	二黒土星	七赤金星	六白金星	本命の星	本命の星	本命の星
8月7日11時～(己時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月	四绿木星	九紫火星	七赤金星	二黒土星	三碧木星	八白土星	一白水星	六白金星	五黄土星	本命の星	本命の星	本命の星
9月7日14時～(未時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月	三碧木星	八白土星	六白金星	一白水星	二黒土星	七赤金星	九紫火星	五黄土星	四绿木星	本命の星	本命の星	本命の星
10月8日0時～(癸時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月	二黒土星	七赤金星	五黄土星	九紫火星	一白水星	六白金星	八白土星	四绿木星	三碧木星	本命の星	本命の星	本命の星
11月7日0時～(己時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月	一白水星	六白金星	四绿木星	八白土星	九紫火星	五黄土星	七赤金星	三碧木星	二黒土星	本命の星	本命の星	本命の星
12月7日2時～(癸時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月	九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四绿木星	六白金星	二黒土星	一白水星	本命の星	本命の星	本命の星
1月9日13時～(丙時)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

←—————基礎データ部分—————> <—————秘術データ部分————>

「100 年方位吉凶表」を開いたときに表示されるデータがこちらでした。
左側（グリーンの背景部分）は基礎編で説明しました。年盤と月盤ですね。

応用編ではこの表の右側部分、「秘術データ部分」を使います。

年盤：大三元 (12席)	年盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
北	西	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
東	西	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
西南 (兼客330席)	-	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	西南	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	東南	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	-	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	-	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	東	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	西	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	-	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	-	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	-	-
月盤：天運方位 (12席)	月盤：同方位 (12席)	秘術：執事方位 (60席)
-	-	-

2. 秘術の種類

応用九星気学・現代風水研究所で公開している秘術は以下の6種類です。

大三合吉方（だいさんごうきっぽう）
天道吉方（てんどうきっぽう）
同会吉方（どうかいきっぽう）
輪重吉方（りんじゅうきっぽう）
大天道吉月（だいてんどうきちげつ）
大同会吉日（だいどうかいきちじつ）

似た名前でちょっとわかりにくいですね。先に2つのグループに分けます。

（吉方位系）

大三合吉方
天道吉方
同会吉方
輪重吉方

（吉日系）

大天道吉月
大同会吉日

まず（吉方位系）の4種は、どの方位が吉方位になるかを示すものです。今まで習得した吉方位と同じ考え方ですね。それが特に強力な吉方位になるというものです。

そして（吉日系）の2種ですが、これはどの方位が「吉」でどの方位が「凶」といった方位ごとの吉凶区分ではなく、運気の流れが非常に良い月・あるいは良い日を意味します。ただしこの2種は「100年方位吉凶表」には掲載しておりません。こちらの2つも活用されたいという方は、恐れ入りますが「日盤」か「刻盤」をご覧ください。

昔から暦に掲載されている「大安」とか「一粒万倍日」のように、すべての人に当てはまってしまう吉日は残念ながらほとんど効果のない迷信の域ですが、この吉日系秘術2種は非常に高い効果を引き出す知る人ぞ知る吉日です。

3. 大三合吉方

最初に「大三合吉方」の説明をします。

年盤：大三合（12倍）	年盤：同会吉方（12倍）	秘術：輪重吉方（60倍）
北	西	-

この表の一番左側。秘術（12倍）と書かれています。

これは「大三合吉方」というのは通常吉方位の12倍の効果なんだという意味です。

12倍です。すごいですよ、12倍！

基礎編でやりましたピンク色の背景の○のところ、つまり通常吉方位の12倍です。それだけ強い周波数が心身に伝わるわけですから、今までなかなか吉方位の効果が発現しなかったという人でも、目に見える反応が出るはずですよ。

また、過去に凶方位をたくさんとってしまって、いわば“運気の借金生活”を送っている人でも、いっきに“運気のプラス生活”に転換することができます。

しかしこの「大三合吉方」の難点は、「年盤」にしか現れないというところです。上の例を見ると「北」と書かれていますね。つまり、1年を通じて「北方位」は12倍の吉方位ですよ、という意味なのですが、年盤ですから

- 1) 引越し（1 km以上）
- 2) 遠距離の旅行（500 km以上）
- 3) 5年以上の治療を要する通院

でしか使うことができません。（詳しくは基礎編の「年盤の使い方」を参照ください）

しかし運良く引越しをするチャンスがあったり、500 kmを超える旅行のチャンスがあったりする場合には、すさまじい吉効果ですので、ぜひ狙ってください。

500 kmを超える旅行なら簡単に行かれそう！と思われた方もいらっしゃるかと思います。500 kmと言えば（繰り返しになりますが）東京から岡山の距離ですからね。

しかしこの「大三合吉方」は毎年巡ってくるわけではありません。その年1年、ずっと「大三合吉方」が存在しない年もあります。

つまり、九星によっては以下のように、「-」となっているものがあります。

年盤：大三合 (12倍)	年盤：同会吉方 (12倍)
-	-

残念ながらこの「-」が出てしまった場合には、1年間、「大三合吉方」はとることができないのです。

また、たとえ「大三合吉方」があったとしても、新潟にお住まいの方が「北」に500 kmとなった場合には、もう観光で行く場所が存在しない・・・という地理的な制約も発生します。

そのため、とれそうで結構とれない吉方位となります。

尚、年によっては、

年盤：大三合 (12倍)	年盤：同会吉方 (12倍)
東南 (東寄り30度)	-

のように、「東寄り30度」といった条件がつくことがあります。

「東南」という方位は通常、「辰の方位」と「巳の方位」が合併した「巽（たつみ）」の方位で、範囲は60度です。

しかしこの大三合吉方については60度すべての範囲ではなく、その中の東に近い側30度だけですよ、という意味になります。（この例では「辰の方位」のみ）

そのため地図を見たときに、本来は60度の「東南方位」を半分にして、東寄りを書いてあれば**東に接した30度**を使って、南寄りを書いてあれば**南に接した30度**を使ってください。

「応用九星気学・現代風水研究所」の地図を使われている方は、**方位の中心線**から見て東寄りか南寄りかを容易に判別できるかと思います。

ちなみに「**三合法**」という方位術をご存知の方もいらっしゃるかと思います。木局三合、火局三合、金局三合、水局三合とって、エレメントの同じ吉方位を3つとると、そのエレメントの性質が強まるという手法です。（ご存知ない方は特に覚えなくて大丈夫です）

昔はこの方法も有効でしたが2003年から風水暦「八運」になってからは、1種類のエレメントに特化した吉方取りが有効にならなくなりましたので、今はこの「三合法」は使いません。

その代わりに、3合の中でも特に突出した波動を出している1つの方位に焦点を当てて、その方位を取る手法が有効になっています。それが「**大三合吉方**」です。

木局三合、火局三合、金局三合、水局三合のエレメントを統一して、仕事のチームを作ったり、人事異動をさせたりする方法は「八運期」の現代でも大変有効な手法ですが、1人で吉方位を取る場合には「三合法」ではなく、「**大三合吉方**」だけを狙うようにしてください。

●秘術の威力が強すぎて、害はないの？

12倍とか、この後出てくる60倍といったすさまじい吉方位を取ってしまうと、身体がついていられないのではないかと。そんな疑問もわいてくるかもしれませんが、確かに**好転反応**として心身がちょっと落ち着かなかったり、一時的に運氣が安定しなかつたりすることもあります。身体が準備するのに少し時間がかかるためです。しかし、あくまでも**一時的**であり、**運氣のベクトル**は完全に良い方向に向いています。そのため、強い吉方位を取った後、多少の不安定期があったとしても、気にせずとった吉方位を信じて、ワクワクした気持ちで前向きに過ごしてください。

極端な例を挙げると、例えば人通りの少ない、シャッター通りと言われるような商店街の隅で**団子屋さん**をやっていたとします。しかし**強い吉方位**を取ったら、**立ち退き**の話がきてしまいました。地域の人のために細々と団子屋をやるのが

最大の幸福と感じていたとしたら、この立ち退きの話は最大の凶作用に感じてしまうかもしれません。

しかし、実はそのままこの商店街で商売を続けても未来はありません。立ち退きのオファーを渋々受け入れたら、駅ビルのテナントスペースを格安で賃貸することができました。結果としては駅前のテナントで再び団子屋を始めて、収入面も将来性もはるかに安定しました。地域の人たちも引き続き買いに来てくれます。なんだか健康になって、心も身体も充実しています。

これはあくまでも端的に表わした事例ですが、結果として立ち退きは大きな吉作用だったわけです。

このように、自分にとっては一見、凶作用と思えるような事象は起こるかもしれません。大きく進歩するためには、必ず「変化」や「改革」が伴うからです。

しかし常に「変化」を受け入れない「保守的な考え方」だと、せっかくの吉効果の芽を摘み取ってしまうことがあります。

吉方位が引き寄せる世界は、今までの価値観では考えられない世界が始まる場合が多いので、いわば「自分の想定外」の動きになることがあります。

実は自分で予想できるような世界というのはたかが知れています。厳しい言い方をすると、所詮、自分が予想できるレベルのことでは、今までは成功に変えられなかったわけです。

ぜひ「一見すると悪くなったように思える事象」は、短絡的に判断をせず、じっくりと観察するようにしてください。

自分になかった考え方、アイデアにこそ成功のカギが隠されています。価値観の異なる他人がアドバイスをしてくれることも多々あります。ぜひこれから起こる「変化」を恐れず、歓迎する気持ちをもって臨んでください。

4. 天道吉方

続いて「天道吉方」の説明をします。

天道吉方は通常の吉方位の3倍の効果があります。

先ほど「12倍」の話をして、今回「3倍」ですから、ちょっとレベルダウンをしたような感じですが、吉方位旅行を3回いくところを1回で済むのですから、結構お得です。

そして、この「天道吉方」は先ほどの「大三合吉方」よりもずっととりやすいんです。

月盤:天道吉方(3倍)
南
月盤:天道吉方(3倍)
西南(南寄り30度)
月盤:天道吉方(3倍)
-
月盤:天道吉方(3倍)
-
月盤:天道吉方(3倍)
西北(西寄り30度)
月盤:天道吉方(3倍)
東
月盤:天道吉方(3倍)
-
月盤:天道吉方(3倍)
-
月盤:天道吉方(3倍)
南
月盤:天道吉方(3倍)
-
月盤:天道吉方(3倍)
-
月盤:天道吉方(3倍)
-

「天道吉方」は月盤にだけ存在します。この表の例では、12ヶ月のうち5つの月でピンク色になっていますね。つまりここが吉効果3倍の「天道吉方」ということになります。

この表を読み解くと、2月の南、3月の西南（南寄り30度）、6月の西北（西寄り30度）、7月の東、そして10月の南の計5つです。

「天道吉方」は「月盤」でしたから、

(強く影響する)

200 kmから500 kmの旅行

5年未満の通院

入学や入社

(影響する)

500 km以上の旅行

1 km以上の引越し

でしたね。影響する範囲がとても広いのが「月盤」でした。

これを「天道吉方」に合わせることができれば3倍です。3倍をバカにしちゃいけないよ。吉体質をつくるスピードが3分の1に短縮できるのですから、人生を有効に使うことができるんです。

この秘術はぜひとりいれてください。

尚、「大三合吉方」のところでも説明しましたが、この「天道吉方」でも、「東寄り30度」といった条件がつくことがあります。

繰り返しになりますが、60度すべての範囲ではなく、その中の東に近い側30度だけですよ、という意味でしたね。

ここはご注意ください。

5. 同会吉方

そして「同会吉方」を説明いたします。

ここまで来ますと、きちんと知っている気学鑑定士や風水師もかなり少なくなります。また、知っていても解釈を間違っているケースがありますので、このマニュアルで正確な同会吉方を理解しましょう。

秘術(12倍)
年盤:同会吉方(12倍)
西
月盤:同会吉方(12倍)
西
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
西南
月盤:同会吉方(12倍)
東南
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
西
月盤:同会吉方(12倍)
-
月盤:同会吉方(12倍)
-

同会吉方は、年盤と月盤の両方にあります。しかも、年盤も月盤もどちらも通常の吉方位の12倍です。年盤だけでなく、月盤にもあるところが嬉しいですよ。使う場面がたくさんありますので。(同会吉方は日盤にもありますが、それについては日盤をご覧ください)

上記の例のように年盤でピンク色になっていましたら、年盤の吉方位として使ってください。引越し、500km以上の旅行、長期通院でしたね。

月盤のところでもピンク色になっていましたら、月盤の吉方位として使います。ルールは同じです。

●同会吉方のねらい目

同会吉方は、大三合吉方や天道吉方と違って、**年盤と月盤の両方に存在**するものでした。ということは、年盤と月盤で同じ方位の同会吉方が**重なる**ときがあるのです。

例えば上記の例で言いますと、年盤で西が同会吉方です。そして、11月にも月盤で同会吉方が回っています。どちらも「**西**」ですね。

こんな絶好のタイミングは滅多にありません。この秘術を知っている一部の人は、何年も前から引越しや長期旅行の計画をして、このような**奇跡的なタイミング**を狙っています。

また、この同会吉方は、大三合吉方、天道吉方、そしてこのあと説明をします輪重吉方と重複することもあります。

輪重吉方（60倍）と**重複**したら、60倍と12倍で・・・ もう大変な波動になってしまいますね。

これだけ強い吉方位の場合には、やはり邪魔が入ってなかなかとることができませんが、日ごろから体質を**吉体質**にしていれば、とるタイミングが巡ってきます。

尚、この「同会吉方」の場合は、「大三合吉方」や「天道吉方」のような「**東寄り30度**」といった条件はありません。ピンク色で「西南」となっていれば、西南方位60度すべてが「**同会吉方**」です。そのため、もしも「天道吉方」と重複して、12倍と3倍の両方をとりにいく場合には、「天道吉方」の30度エリアに合わせて目標を決めてください)

そして、残念なことに、本命星が**二黒土星**と**八白土星**の人は、この「同会吉方」が巡ってきません。全く「**ゼロ**」です。なんだかちょっと損をしたような感じがすね・・・ しかし、その分、後述します**輪重吉方**が他の九星よりも少し多く発生しますので、そこで帳尻が合っています。

では、どんな感じで輪重吉方の表記が現れるかと言いますと、こんな感じです。

秘術:輪重吉方 (60倍)
7月前半の西南に輪重吉方成立
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
西南 (土用前まで)
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-
秘術:輪重吉方 (60倍)
-

これは本命星に一白水星をもつ人の2018年の年盤と月盤なのですが、西南方位が輪重吉方であることを示します。それも1年を通じて輪重吉方なのではなく、2018年7月だけ、しかも土用前の2週間だけです。通常、輪重吉方は1ヶ月限定ですが、このように土用前の2週間という場合もございます。十分に注意してください。

大三合吉方や同会吉方は、年盤に入っていると1年間ずっとその方位は大三合吉方あるいは同会吉方でしたね。しかし、輪重吉方はルールが異なります。

年盤と月盤が重複したこの1ヶ月（あるいは2週間）のタイミングだけです。

以下のような年盤と月盤の両方の影響範囲に適用できます。

- 1) 引越し（1 km以上）
- 2) 遠距離の旅行（500 km以上）
- 3) 200 kmから500 kmの旅行
- 4) 5年以上の治療を要する通院
- 5) 5年未満の通院
- 6) 入学や入社

こちら「東寄り30度」といった条件はありません。ピンク色で「西南」となっていれば、西南方位60度すべてが「輪重吉方」です。

また、同会吉方や天道吉方、大三合吉方と重複して倍増するケースもあります。

この「輪重吉方」を使いこなしている気学鑑定士はほとんど現存しないですし、初めて聞く方がほとんどだと思います。

皇族や世襲議員、代々続く老舗の会社や店舗では、極めて計画的にこの「輪重吉方」を使って子孫の育成を行なっています。

当然、これだけの強烈な吉方位ですから、綿密に引越しの計画をしてもそれを中止せざるを得ないような（もしくは時期をずらさざるを得ないような）邪魔が入る可能性はありますが、日ごろから日盤を使って吉体質をコツコツつくって、いつか「輪重吉方」に挑戦していただきたいと思います。

こんな感じですよ。ポツンとピンク色で表示されます。見落とさないようにしてくださいね。

こんな絶好のタイミングには、会社を休んで自宅から200km以内の温泉に日帰り旅行なんていいですね。もちろん月盤も通常の吉方位でしたら、200km以上の遠距離にも行かれます。月盤吉方位であればこの日に出発をして宿泊をして帰ってもいいですね。

応用九星気学・現代風水研究所のスタッフの中には、この日盤輪重吉方にマラソン大会がある場合は、温泉旅行とマラソン出場を兼ねて出かけていたりしています。

ゴルフでもいいですし、海水浴でもリゾートホテルでエステでも結構です。「日盤」をお使いの方は、ぜひこの毎年訪れる特別な日は自分のためにご褒美をあげる日にしてください。

8. 同会と傾斜

先ほど「最大吉方位」の説明をしましたが、そのときに一緒に表に記載されていた「同会」「傾斜」の2つを説明いたします。

九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四緑木星	六白金星	二黒土星	一白水星
(小寒)	五黄殺	〇/土用殺	〇	的殺	暗剣殺	月破		月命殺
本命星 (一白水星) 月命星 (一白水星)		9年周期バイオリズム		同会・傾斜・最大吉方位		小児殺について (満12歳以下のみ)		

ご自身の本命星と月命星から、同会と傾斜を探してみてください。

本命星	月命星	同会	傾斜	最大吉方位
一白水星	一白水星	二黒土星	六白金星	三碧木星・四緑木星
	二黒土星	九紫火星	四緑木星	六白金星・七赤金星
	三碧木星	八白土星	三碧木星	四緑木星

普段、吉方位や凶方位を調べるときには使いませんが、この「同会」と「傾斜」というのはあなたご自身の性質を表します。

同会というのは、いわば、活躍する生き方、活躍するステージ を意味します。

例えば本命星が一白水星、月命星が一白水星の人は、同会が二黒土星です。

二黒土星のような庶民的で大衆を相手にした縁の下の力もちのような仕事で一番運気が伸びます、ということが読み取れます。そのため、職業を選ぶときには非常に参考になります。なんといっても用意されたステージですから、ステージに合った生き方をしていれば、強い追い風になります。

しかしこの同会が表わす生き方・ステージは、実は一番苦手な生き方だったりすることが多いんですね。苦手だから遠ざけていると実はなかなか運気の流れに乗り切れないというケースが非常に多いです。

「一見すると嫌いな生き方だけど、実は一番運気を高めてくる生き方」

を示しているのがこの「同会」だと思ってください。すべての同会の性質についてはここでは説明できませんが、機会があれば鑑定室にご質問ください。

そして同会の横に表記されています「傾斜」ですが、これはあなたの本当の姿、本当の性格です。潜在意識を支配する星と言ってもいいでしょう。

上記の例で言えば、本命星が一白水星、月命星が一白水星の人は、傾斜が六白金星です。つまり、潜在意識では六白金星のような完璧主義で理想を追う性質がある、ということが読み取れます。

自分の傾斜を知ることで「本当の自分」を知ることができますので、自分の思考や行動のクセを理解することができます。（運気を上げるためにはまずは「己を知る」ことが大切です）

そして、相手の傾斜を知ることで、人間関係をスムーズにしやすくします。相手の「本当の性質」がわかると、「なぜそういう行動をするのだろう」「なぜそんなことを言うのだろう」といったことが理解できますので、自分の中で許容範囲が広がるんですね。会社の人事やプロジェクトチームの構成などにこの「傾斜」を使っている会社は密かにたくさんあります。

単純に本命星：一白水星の人は、本命星：五黄土星の人とは仲が悪い・・・といった表面的な相性判断ではなく、もっと本質まで掘り下げた相性判断ができます。

9. 9年周期のバイオリズム

続いて9年周期のバイオリズムについて触れておきましょう。

九熒火星	五熒土星	三熒木星	七熒金星	八熒水星	四熒木星	六白金星	二熒土星	一白水星
(小寒)	五熒殺	〇/土用殺	〇	昴殺	暗刺殺	月破		月命殺
本命星 (一白水星) 月命星 (一白水星)		9年周期バイオリズム		開会・傾斜・最大吉方位		小児殺について (満12歳以下のみ)		

風水暦では9年周期で運気の流れを見ます。

それぞれ九星ごとに、その年の運勢は異なります。

- ☆ (低迷期)
- ☆☆ (注意期)
- ☆☆☆ (改革期)
- ☆☆☆☆ (良運期)
- ☆☆☆☆☆ (盛運期)
- ☆☆☆☆☆☆ (最盛運期)

と6つの☆でその年の運気の強さを表わしています。1年おきに変わります。

☆ (低迷期) の年はどうしても運気の流れが良くありませんから、吉方位の効果も出にくいですし、凶方位の作用は通常よりも強く出ます。

しかし吉方位の効果が出ないわけではありません。出にくいだけですから、こういう時期こそ吉方位旅行を続けてくださいね。

反対に ☆☆☆☆☆☆ (最盛運期) は何もしなくても運気の流れが良い年ですから、吉方位旅行や吉方位引越しの効果も強く出ます。

このバイオリズムに縛られ過ぎてはいけませんが、自分の今の運勢を知る目安としてください。

このバイオリズムは自分の本命星がどの方位に位置しているか、によってわかります。

「100年方位吉凶表」を見ていただきますと「年盤部分」に以下のようにありました。

申年	中宮	北
	二黒土星	七赤金星
2016年		○

中宮「二黒土星」というところを見てください。これは二黒土星が8方位ではなく、その真ん中の「中央」に位置していますよ、という意味でしたね。

九星は、北→西南→東→東南→中央→西北→西→東北→南 という順番でまわります。2016年に「中央」にいる「二黒土星」は翌年「西北」に移動することになります。

それをまとめますと、

- 北 ☆（低迷期）
- 西南 ☆☆（注意期）
- 東 ☆☆☆☆（良運期）
- 東南 ☆☆☆☆☆☆（最盛運期）
- 中央 ☆☆☆☆（良運期）
- 西北 ☆☆☆☆☆（盛運期）
- 西 ☆☆☆☆（良運期）
- 東北 ☆☆☆（改革期）
- 南 ☆☆（注意期）

という運気のバイオリズムとなります。この順番で毎年動きます。

現在、中宮（中央）にいる二黒土星は ☆☆☆☆（良運期）です。翌年は ☆☆☆（盛運期）です。

そのようにして9年周期の大雑把な傾向を知ることができます。

しかし、本命星：二黒土星の人、全員が ☆☆☆☆（良運期）かと言うと、そこまでシンプルではなく、もっと複雑なんですね。

本命星が二黒土星であっても、月命星と傾斜は人によって異なります。例えば

本命星：二黒土星、月命星：七赤金星の方は、傾斜が九紫火星です。

そうすると、2016年は

本命星：二黒土星 ☆☆☆☆（良運期）

月命星：七赤金星 ☆（低迷期）

傾斜：九紫火星 ☆☆☆☆（良運期）

ということで、少し ☆（低迷期）の要素が入っています。

年齢が若い10代であれば、月命星の影響力が強いので、☆（低迷期）に引っ張られて、少し運気の伸び悩みがあるかもしれませんが、この人は例えば40代で月命星の影響が少ない年齢になっていれば、潜在能力（＝傾斜）の ☆☆☆☆（良運期）も助けとなって、運気が通常よりもさらに伸びている可能性があります。

バイオリズムのメインはあくまでも本命星ですが、年齢によって月命星や傾斜の影響が全体の2割から3割程度、反映されるとお考えください。

もちろん過去にとった吉方位と凶方位の結果が時間を経て現れますので、もしも過去にとった強烈な凶方位の影響の顕現期と重なってしまったら、思ったよりも運気が安定しない、ということにもなり得ます。

バイオリズムは避けられない絶対的な法則です。

しかし、上手に吉方位を取り入れていると、低迷期のわりには運気を下げずに過ごすこともできますので、バイオリズムを頭の隅におきつつ、吉方位を取る計画を練っていただきたいと思います。

10. 子供の本命星・月命星

続いて100年方位吉凶表を使うにあたっての注意点をご説明します。

●年齢による本命星・月命星の考え方

実は人間は生まれた直後はまだ本命星の影響はほとんどなく、月命星の影響で身体の波動が機能します。

そのため生まれてから満12歳までは、月命星を本命星として入れ替えて方位を見なければなりません。

13歳の誕生日を迎えたら、それがパッと入れ替わるわけではないですし、子供1人1人の成長や波動状態が異なりますので、どのくらいの期間をかけて月命星が本命星に入れ替わるのかは、判断が非常に難しいのですが、

- 1) 満12歳までは月命星を本命星に入れ替える
- 2) 13歳から19歳までは本命星をメインに見るか、月命星も参考にする
- 3) 満20歳からは本命星を基準にして方位を見る

として考えています。

つまり、例えば2010年11月23日に生まれたお子さんが2016年の方位を見ると、

本来は、本命星：八白土星、月命星：二黒土星 なのですが、満12歳までは、二黒土星を本命星として方位を見ます。（その場合、八白土星は考慮しなくて結構です）使う100年方位吉凶表も「二黒土星」を使います。

応用九星気学・現代風水研究所の公式データ商品の中にも、

「月命星が二黒土星の満12歳未満の100年方位吉凶表」

という商品をご用意していますので、年齢が12歳未満の場合には、専用のデータをお送りしています。

13歳以上で使う大人用の100年方位吉凶表とレイアウトは変わりませんが、

月命星：本命殺

月命星：本命的殺

は掲載していません。その点だけご注意ください。あとは、すべて使い方は同じです。

一時期は、12歳以下の場合は年盤の影響は少ないので、年盤を見ないという時代もありましたが、現代では子供もしっかり年盤と月盤も吉方位・凶方位をあわせませす。

そして、13歳になりましたら、本命星に合わせてそのまま100年方位吉凶表を使います。

上記の例、2010年11月23日に生まれた、本命星：八白土星、月命星：二黒土星のお子さんの場合は、2023年になりましたら、

本命星：八白土星、月命星：二黒土星

という大人と同じ100年方位吉凶表を使ってください。ただし、

12歳まで使っていた

「月命星が二黒土星の満12歳未満の100年方位吉凶表」

もできる範囲で参考にして、2つの盤を見比べて共通した吉方位を取るようにするとさらに吉効果の精度が高くなります。

そして、満20歳を迎えたら、もしくは高校を卒業して社会人になった18歳から、「社会人」として周囲が扱うようになった段階で、完全に

本命星：八白土星、月命星：二黒土星

の100年方位吉凶表だけを取り入れます。少々複雑になりますが、ぜひ気をつけてください。

1 1. 子供特有の凶方位「小児殺」

最後に「小児殺」という子供だけに発生する凶方位について説明いたします。
この「小児殺」というのは発生状況が少し流動的で、年盤で現れる場合や月盤で現れる場合があります。毎年コロコロ変わることはありませんが、10年、20年くらいの地磁気の動きで変動します。

そのため100年方位吉凶表のように100年分をまとめて掲載するようなデータ商品には記載ができません。詳しくは以下の○で囲ったシートをご覧ください。

九紫火星	五黄土星	三碧木星	七赤金星	八白土星	四绿木星	六白金星	二黑土星	一白水星
(小寒)	五黄殺	○/土用殺	○	的殺	暗剣殺	月破		月命殺
本命星（一白水星）月命星（一白水星）		9年周期バイオリズム		同会・傾斜・最大吉方位		小児殺について（満12歳以下のみ）		

おわりに

以上が、「100年方位吉凶表 活用マニュアル」の全文となります。情報量が多く読みにくい部分も多かったかと思いますが、最後までお読みいただきありがとうございました。

非常に難解な方位術であるため、まだまだ不明な点が残っているかもしれません。

調査や検証作業が伴うご質問の場合は鑑定室において有料で鑑定をご依頼いただくかたちになりますが、この「活用マニュアル」の記載の内容で、わからないところがありましたら、Eメールで無料回答いたします。（恐れ入りますが、お電話では質問はお受けしておりません。）

●お問い合わせ先メールアドレス kigaku@i-ave.co.jp
※平日48時間以内にメールにて回答させていただきます

【ご質問方法について】

- 1) 必ずメールの題名を「購入者質問」としてください
 - 2) 本文の中に以下の項目を必ず入れて下さい
 1. ご購入頂いた商品名（100年方位吉凶表・日盤・刻盤）
 2. ご購入頂いた年月日
 3. お名前
 4. お住まいの都道府県
 5. 九星の種類（本命星と月命星）
 - 3) ご質問内容を具体的にお伝えください（できるだけ箇条書きで）
- ※内容によってはお答えできないこともございます

100年方位吉凶表を通じて、皆様の人生の大きな後押しができれば幸いです。

応用九星気学・現代風水研究所
公式データ商品「100年方位吉凶表」

発行者 株式会社アイランド・アベニュー
〒142-0051 東京都品川区平塚 3-2-17